

キャラクター名  
出浦 黒音(いでうら くろね)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	大学生	カヴァー	ティンダロス構成員
	キュマイラ					
オプション			年齢	20	性別	女
覚醒	生誕	衝動	闘争		初期侵食率	38 %
出自	義理の両親		経験	トラウマ(恩人)		邂逅 同志(美奈瀬夏樹)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	0	0		2	8	行動値	3
感覚	0	0	0		1	1	(非装備時)	3
精神	0	1	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0		1	3	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			R C			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:貫い物カト	2		芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:学問	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
槍	白兵	8r	1	5		
		0				
【臨戦態勢】		0				
②+③		0			コスト8、肉体の判定D+5、アイテム使用可能	

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
Dロイス:実験体	P 有為	NO無関心		
朝比奈氷雨	P ○尊敬	N 恥辱		
美奈瀬夏樹	P ○誠意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
CR:キュマイラ	2	2	Xジャー					
効果: C値-LV								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン【肉体】を使用した判定D+[LV+2]、素手を除くアイテム装備使用不可								
知性ある獣	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 完全獣化中、アイテム使用可能								
飛礫	3	2	Xジャー	20m	単体	白兵	Sn/LV	
効果: 白兵攻撃の射程20m、攻撃力+4に変更。同エンゲージ不可								
神獣撃	5	2	Xジャー	武器	単体	白兵	80%	
効果: 完全獣化中使用、攻撃力+[LV+2]D。MP終了時完全獣化解除								
フルパワーアタック	4	4	セツアップ	至近	自身	自動	80%	
効果: R中白兵攻撃の攻撃力+[LV*5]、行動値0								
眠れる遺伝子	★		常時	至近	自身	自動		
効果: 暇な時は大体犬だよ!								
鋭敏感覚	★		Xジャー			自動		
効果: 嗅覚とかよくなるよ								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「どーも、出浦黒音って言います!ご期待に半分沿えるように、ほどほどで頑張ります!」  
「おや、ここ入っていいそうだな……。あ、あれ、動けない!?うわーん!誰かー!」

大学生でありオーヴァードの女性。大体は人間だが、暇なときは犬の姿をして街をうろついている。所謂試験管ベビーなのだが、何らかの理由で失敗作となり、今の親に育てられ来た。本人はそのことを知らない。頭は悪くないのに致命的にアホなため、犬で散歩しているとき、よく狭い所に挟まっている。理由は不明だが、「一般人を守る」事を何よりも優先するため、民間組織の自警団ティンダロスに所属している。自身が純生のオーヴァードなのは自覚しているため、所属メンバーには珍しく、自分が人間ではないことに何も感じていない。

ピュアブリードのキュマイラ。人狼の姿に変化した後、槍で戦う白兵型。正直投げけるなら槍でなくてもいいのだが、馴染んでるという理由だけで槍を使い続けている。良く言えば猪突猛進、悪く言えば自分の限界が分かっていない。本人曰く「逃げ方は万死に値する」

小さい頃、遊んでいるときに穴に嵌ってしまい動けなくなっていた所をある人物に助けってもらったことがある。それ以降、その人物に懐いている。犬の姿をしていると飼犬と間違われることも